

高木小だより 高木っ子 NO.21

御船町立高木小学校
令和6年1月11日(木)
文責:校長 荒牧和子

★3学期、そして新しい年がスタート

本冬休みを終え、学校にも日常が戻ってきました。子どもたちもおおむね元気です。今週は、全学年とも「陶芸教室第二弾色つけ」があり、素焼きされた自分の作品に思い思いの色を付けていました。どんな作品に仕上がるか、とても楽しみです。各学年の代表作品は、郡の焼き物展に出品します。

3学期の授業日数は50日あまり。体調に気を付け、毎日学校に来て、たくさん勉強し、たくさん遊んで、今年の干支の辰(龍)のように、天(目標)に向かって駆け上ってほしいと願っています。



【始業式での話】

新しい年2024年、令和6年が始まりました。みんなはどんなお正月をすごしましたか? おいしいものを食べて、たくさん遊んで、楽しかったーという人もいるだろうし、病気をしたり、心配事があったり、あまりハッピーじゃなかったよ、という人もいます。でも、今日、ちゃんと学校に来て、3学期のスタートを切ったこと、それが大事です。3学期は3ヶ月しかありません。あつと言う間です。今の学年のうちに、できるようになりたいこと、できるようになるべきことを考えて、1日1日を努力していきましょう。

みんなも、テレビのニュースなどで知っていると思いますが、1月1日の夕方、石川県能登半島付近で、震度7という大きな地震がありました。地震の揺れと津波で、たくさんの建物が壊れ、土砂崩れがおき、昨日で、168名の方が亡くなられました。まだ、行方が分からないという方もいます。

想像してみてください。家族が見つからないという焦りや悲しさ。とても寒い冬のこの時期に、住んでいる家を壊され、学校の体育館や公民館などの避難所で、寝泊まりする不安。先生は、8年前の熊本地震を思い出しました。地面が割れ、道路が壊れ、水も出ない生活。ポリタンクを持って、吉無田高原の湧水を、何回くみに行ったことか。6年生の人は、そのころ4才くらいなので、少しは記憶にあるかもしれませんね。この高木小学校も、避難所となり、教室や体育館で、多くの方が避難生活を送っておられました。先生たちの玄関前には、その時の写真がはってありますので、見た人もいます。

私たちはこうやって、安全な場所で、3学期を始めることができました。みんなの家族の方はもちろんのこと、朝、登校中に「おはよう、いってらっしゃい」と声をかけてくださる地域の方や、今日から始まるおいしい給食を作ってください方、みんなが楽しく勉強できるように、たくさんの準備をして授業をしてくださる先生方。それらの全てに、「ありがとう」の気持ちを持って、生活してってほしいと思います。「ありがとう」の気持ちをどんな行動で伝えるか?それは、一人一人が考えてみてください。

3学期の高木小のテーマは「感謝の行動」です。

★「こころのアンケート」結果

12月に実施した「こころのアンケート」の結果をもとに子どもとの教育相談を実施しました。今の学年になってからの「いじめにあった」という件数は0ではありませんでした。子どもたちから聞き取りをしたり保護者とも相談したりし、現在は解消されていることが分かりました。

これからも、「自分と同じように他者をだいにできる子ども」の育成を目指し、「けんかをして、なかなかおどろける」力をつけていきたいと考えます。ご家庭でも、心配なことがある時には、躊躇せず相談してください。

(学校☎ 282-0719)



★★ P T A主催教育講演会 ★★

～メディアとの関わり方～

1月31日(水)の授業参観後に、PTA主催の教育講演会を開催します。講師は、熊日連載「スマホの向こう側」でおなじみの田中慎一郎さん(現在、帯山中学校教頭)です。長年、生徒指導担当としての経験をもとに、講演会の実施や学校HP内に相談室を開設するなど様々な取組をされています。是非、ご参加ください。

